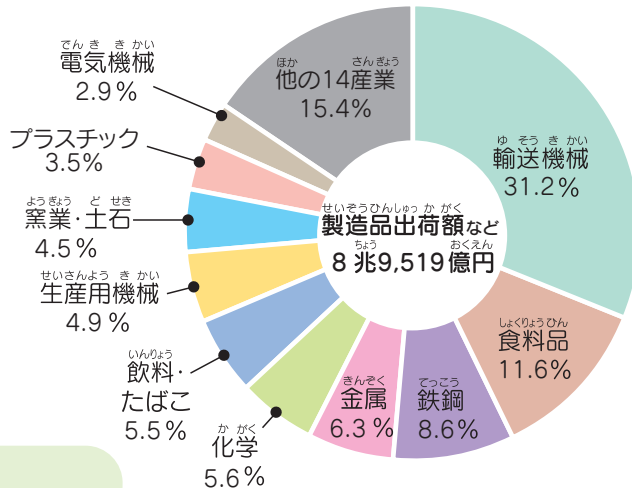


福岡県の商工業

福岡県では最先端の研究や工業技術で、たくさんせいひんのすぐれた製品つくが作られています。
みんなの身の回りに、どのような製品せいひんがあるか探してみましょさがう。

工業

昔むかしは、鉄鋼てつこうや石炭せきたんを中心に発展ちゅうしんしてきたんだよ。
現在は、自動車じどうしゃやその部品ぶひんがたくさん作つくられているんだ。
大学だいがくや企業きぎょうが協力きょうりょくして、新しい技術あたらや製品せいひんづくりを研究けんきゅうしていて、日本にほんを代表だいひょうする産業さんぎょうになっているものもあるよ。



自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があります。また、となりの大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。

北部九州にあるこれら4つの自動車工場せいさんで生産できる台数は年間154万台です。世界を見渡しても150万台以上乗用車を作っている国は8か国しかありません。

1台の自動車を作るためには、およそ2~3万個の部品ぶひんが必要です。これらの部品は、多くの関連工場かんれんこうじょうで作られています。福岡県内には、約600社の関連企業かんれんきぎょうがあり、多くの人おほが働いています。

このように自動車産業は福岡県にとって、なくてはならない重要な産業じゅうです。



県FCV公用車

水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素・燃料電池の産業振興に取り組みんでいます。

九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。

県では、水素を使って走り、走行時に水しか排出しない燃料電池自動車(FCV)3台を公用車として活用しています。

また、FCVの普及に向けて、FCVに水素を供給する水素ステーションの整備も進めています。県庁敷地内に設置している水素ステーションを含めて、現在、県内11か所に水素ステーションが設置されています。



九州大学 水素材料先端科学研究センター



水素ステーション

